

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成27年5月7日(2015.5.7)

【公開番号】特開2014-183704(P2014-183704A)

【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-58318(P2013-58318)

【国際特許分類】

H 02 K 1/16 (2006.01)

H 02 K 21/14 (2006.01)

【F I】

H 02 K 1/16 C

H 02 K 21/14 M

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月18日(2015.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

以下、図3～図14を参照して本発明の特徴的構成について、実施形態1～4に基づいて説明する。なお、以下の実施形態では、固定子のティースに捲回されるコイルは分布巻きとしている。したがって、図7～10および図13～14で示す計算結果は、分布巻きに対するものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

上記の実施形態1～4の説明をまとめると以下の通りである。本発明では、ティースの先端部の形状とスロットの開口幅とを周方向にF回(ただしFは2以上の自然数)周期的に変化させることにより、周期境界条件をえることなく、振動・騒音に影響する接線方向電磁加振力高調波の振幅を低減できる。上記では説明していないが、8極12スロットあるいは10極12スロットの回転電機においても、本発明による回転電機の構成が適用できることが分かっている。